

令和6年度第2回 学校運営協議会開催

令和6年12月4日



令和6年12月4日に第2回学校運営協議会を開催しました。

第2回は学校長挨拶の後、各学部の授業をご参観していただきました。授業参観いただく前に、参観後の協議の柱について、校長から資料に基づき説明。テーマを「在学中、及び学校卒業後、児童生徒一人一人が個の有する力を発揮し、自立して自分らしく、生き活きと社会参加（社会貢献）できる「人」を目指すために個別最適な教育の保障をいかに獲得させることができるか」とし、授業で学んだことを社会で活かす「生きる力」の保障について、ご意見ご感想をいただくこととしました。

各学部主事から授業の内容及びねらい等について説明しながら委員様と質疑応答を交わしました。

いただいたご意見ご感想として、「自立というのは子供によっても、我々の捉え方によっても様々である。学校という集団生活において自立を目指す様子が見られた。」「子供たちが生き活きと授業に参加していた。授業が楽しいと感じなければ続かないと思う」「（職場の代表として）楽しく（やりがいをもって）働ける職場を目指している。会社に行くことが苦にならない取組を考えている。楽しみ方（休憩時間や余暇の過ごし方）も教えなければいけないと考えている。」「利用者さんの特性、得意なことをみつける努力も必要だと思う。」「休憩時間など（すきまの時間）が案外大切である。」「高等部音楽の授業で個に応じた楽器演奏を取り組んでいたのは、よかった。」などの意見を頂戴し、学校学習活動・生活において児童生徒に身につけなければいけない視点「自立」について、協議を進めました。

それらのご意見を受けて校長から「社会に出るまでに獲得しなければいけない「自立」は、「個別最適な力」であり一人一人異なる。課題も異なる。社会に出る前に学習することが、余暇活動も含めて我々教員の責務と考える。委員さんがおっしゃるとおり、個々人が今必要とする「自立」こそが生きる力につながる。社会で活かす「学習」の必要性についてご示唆いただいた。貴重なご意見を受けて今後の学校運営につなげていきたい」とお礼を述べた。

後半は、中学部、高等部現場実習について、大学との連携事業（ビューティフル・キャンパス・プロジェクト）の進捗状況や今後の目標について、本校の研究、中間発表会の予定等について報告を行い、終えた。

